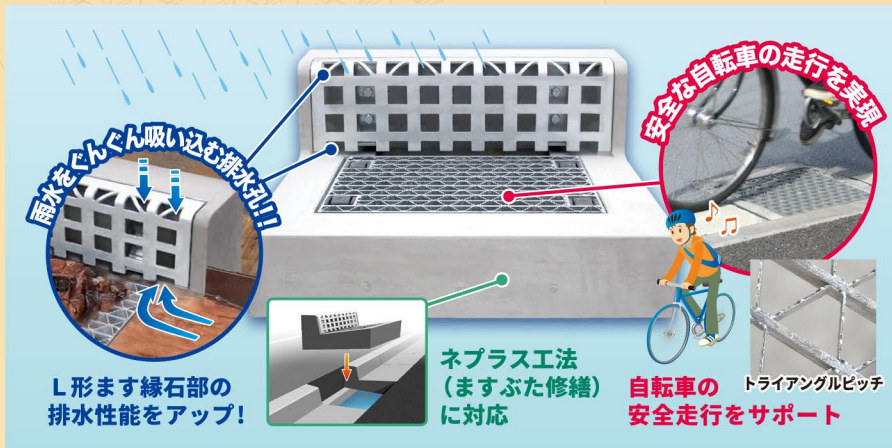


落ち葉冠水防止ふた

かんすけ  
**冠助**®

# 集水性能試験

横1.0m×縦2.0mの実験施設の下流側にL型集水柵を設置、施設内に毎秒5.6ℓの水を落ち葉と一緒に排水し、平面のグレーチングが、落ち葉によって目詰まりが起り、縦面の冠助カバーの集水性能試験を行いました。



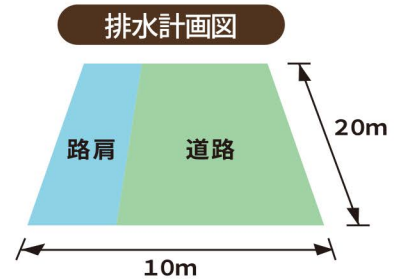
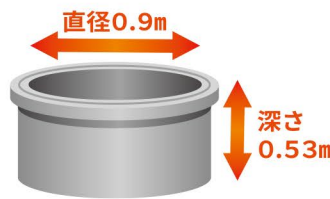
## 排水量の確認

実際に使用している事を想定し、合理式（ラショナル式）により、

- 集水面積=200m<sup>2</sup> (横10m×縦20m)
- 流出係数=0.95
- 降雨強度=90mm/h r

雨水流出量0.005m<sup>3</sup>/secの水量を流す実験を行いました。

容積0.337m<sup>3</sup> ÷ 60秒 = 0.0056m<sup>3</sup>/sec



注水前



注水中



60秒後満水

## 冠助の集水性能試験の様子



排水孔上面

毎秒5.6ℓの水を落ち葉と一緒に排水し、数分間経過を確認しましたが、水が実験施設から溢れる事はありませんでした。